



香ヶ丘地区における学生の活動拠点づくり



DATA

- 主な連携先・メンバー
浅香山 GENKI プロジェクト / NPO 法人 kokoima / 堺区教育・健全育成会議(2020年4月1日廃止)
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2015年度～継続中
- 活動資金
関西大学地域連携活動に対する補助事業(2019年度)

活動の目的

「シャッター商店街」「超高齢化、孤立化」「精神病患者の居場所」「子どもたちの居場所」等の現代日本が抱える地域課題を、学生と地域住民との協働によって問題を緩和・解決し、学生にとっても学びの場になる街づくりを推進する



連携にいたる経緯

2015年、本学堺キャンパス所在地である香ヶ丘地区内の香ヶ丘商店街に、NPO 法人 kokoima がコミュニティカフェ「ここいま」を開業。このカフェは、同地区内にある浅香山病院の元看護師らが中心となって、精神病患者の居場所づくりを目指して立ち上げられ、本学の学生たちがそれまで連携していたNPOのメンバーとともに、空き店舗をカフェにリフォームする活動に参画したことがきっかけ。



活動内容

カフェオープン後は、シャッター商店街となっていた香ヶ丘商店街で、フリーマーケットやかつて恒例だった夏の夜店を再開するなど、地域活性化に向けた活動を継続。その間、香ヶ丘周辺の企業、NPO 法人、商店、個人有志などが次々に活動に参加し、2017年度より「浅香山 GENKI プロジェクト」と称して街づくりを推進してきたが、街の人々の学生に対する期待は大きく、日常的に学生と街の人々が触れ合える場所の確保が急務とされていた。そこで、商店街の空き店舗をリフォームして学生の街おこし活動拠点をつくり、子どもたちが集える「放課後寺子屋」や「週末フリーマーケット」、貧困家庭をターゲットとした「若者向けリユースショップ」などの実施を計画。活動拠点の内装リフォーム工事はおおそ完了したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設での実用開始はずれこんでいる。しかし、当初予定していた商店街でのフリーマーケットやチャリティイベント、季節ごとのイベントについては実施することができた。



活動の成果

- 1 地域における住民の交流促進、居場所づくり等を目的とした事業を実施することで、住みやすい街づくりが着実に前進していること
- 2 これまでの学生の活動により、本地域を授業(『プロジェクト学習1(体験学習と地域活性化)』)のフィールドとして活用することができるようになった



今後の課題・目標

学生の拠点となるスペースを基地として、既存の事業の継続だけでなく、新たな事業を創成する

教員紹介



■ 人間健康学部 教授

安田 忠典

Tadanori Yasuda

人間健康学部では、レクリエーション、ファシリテーション等のトレーニングをしている明るくユーモアあふれる学生たちが実際の経験の場を求めている、そんな若い力を求めている現場とコラボが可能。



■ 人間健康学部 教授

村川 治彦

Haruhiko Murakawa

村川ゼミでは、社会の多様な人々と交流しながら地域に貢献する活動を通して、スポーツ等で培ってきた経験を、社会にでて様々な分野で活躍できる実践知へと一般化していく。